

自動配管設計支援システム

PIPE-Pro

6月に入り、梅雨の代名詞ともいえる紫陽花（アジサイ）を見かける機会が多くなりました。紫陽花は5～7月に開花し、6月上旬～7月上旬頃に見頃を迎えます。

紫陽花の花のように見える部分は、花びらではなく葉が変形した萼（ガク）と呼ばれるものです。萼は別名「装飾花」と呼ばれ、色づいているので外見上は花びらのように見えます。根から吸収される養分によって萼の色が変わるため、酸性ならば青色、アルカリ性ならばピンク色へと変化します。

色も種類も多い紫陽花。自分のお気に入りを見つけてみるのも楽しそうですね。
パイプシステム通信編集部

第55回管工機材・設備総合展に出展します

2023年7月25日（火）～27日（木）に東京ビックサイト（南展示棟1・2ホール）にて第55回管工機材・設備総合展が開催されます。

当事業部では、施工情報システムⅡ他、スマート水道工事システム関連の展示をいたします。ご興味がございましたら是非会場までお越しくださいませ。

◆東京管工機材商業協同組合
<https://www.tokanki.or.jp/notfound>

弊社では水道事業体様、工事会社様が行っている水道管路工事の設計から完成まで一連の業務を効率化するため、スマート水道工事システムの新サービス『Piprofessor（パイプロフェッサー）』の販売を開始しました。

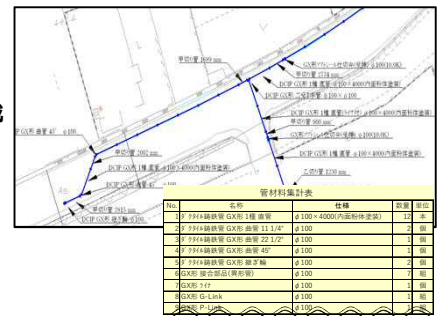
近々リリース予定の「自動配管設計支援システム PIPE-Pro」は、パイプロフェッサーを構成する4つのアプリケーションの中で、設計業務を効率化するアプリケーションです。

< PIPE-Pro入力イメージ >



布設計画線上に、IP点や通過点を入力、異形管・弁類等を指示

自動作成



管割図には管の種類、呼び径や長さ等を自動表示

講習会 レポート

北海道北見市
株式会社中神土木設計事務所
技術部 課長 佐川様

ダクタイル鉄管と配水用ポリエチレン管の技術説明会並びに接合デモを弊社にて開催いただきました。

弊社では水道の設計業務等を行っておりますが、普段の業務では管材を目にする機会がありませんでした。実際にダクタイル鉄管と配水用ポリエチレン管を目の前で見ることができ、普段図面上で見ると製品と実物を照らし合わせることで製品に対する理解が深まりました。ダクタイル鉄管と配水用ポリエチレン管について同時に説明いただけたのも効率的でした。説明いただいた内容を踏まえ、今後の業務に役立てていきたいと思っております。



< 講習会の様子 >



施工情報システムⅡ

管工設備株式会社 常務 佐藤 様

登別市都市整備部様より発注がありました「若草町3丁目配水管改良工事（GX形口径75～200×約127m）」の水道工事現場で、施工情報システムⅡとサイトチェッカーを試験的に採用いただきました。株式会社管工設備様よりコメントをいただきましたのでご紹介します。

今回初めて使用しましたが、施工情報システムⅡはクボタ担当者の説明後、着手前に端末を操作したうえで現場に入ったこともあり、管情報、施工管理情報の入力、サーバへの送信を問題なくスムーズに操作することができました。継手のチェックシートや工事日報、管割図などの成果品についても自動作成できるので事務処理時間の削減が期待できると感じました。サイトチェッカーは、ゴム輪位置の計測値を施工情報システムⅡへ自動入力できるため、煩雑な作業の解消やゴム輪位置を確実に測定でき、施工品質向上に非常に効果があると感じました。毎回入力する管情報についても自動配管設計支援システム、施工計画システムとの連動で自動入力が可能と聞いているので、今後についても他アプリや拡張機能と連動することでのサービス向上を期待しております。